

小沢映子後援会だより

②

# 四っ葉のクローバー

## 市議選終わる



2003年4月27日、富士市議会議員選挙が行われました。その結果、3285人もの方が票を投じてくださり、38名中8位で当選することが出来ました。たくさんのご支援本当に、どうもありがとうございました！初めての選挙でしたが、石丸さんと石丸さんを支えてきたたくさんの仲間、そして私の仲間、さらに、女性を減らしてはならない！生活者である女性の視点が大事よ！福祉の充実が必要よ！と、友達や知り合いに、声をかけて下さった皆さんのおかげです。

## 選挙を振り返って



選挙が終わりました。部屋を片付けながら、石丸さんの初めての市議選が終わったあと、関わったみんなの思いが募った文集を読みました。女性議員を議会に送りだそう！悔しい次回こそ！という力強い言葉。女性の思いとエネルギーがぎゅっ詰まっています。読んでいて胸が熱くなりました。その4年後の選挙で見事当選して3期、素晴らしい活躍をしてこられたのはいうまでもありません。その女性達の思いを過去から現在そして未来へとつなげていく、そんな光栄な役目を私は仰せつかったんだと、改めて感慨にふけりました。

選挙は大変だけど、議員としてスタートする大事なプロセスのように思います。たくさんの方がボランティアで関わってくれる、何百人という支援者のお宅へ伺う、事務所・電話・車・ポスター等の手配、人の手配、演説会やら、出陣式。もう目が回るほどです。これだけ応援してもらったら誰だって、みんなのためにガンバロウと、力がわくはずだと思います。

もう一つよかったのは、たくさんの人と出会うことができたことです。年齢、職業、信条、それぞれ違う立場の人の話を伺うことができました。出会いの数だけ生活があって、ひとりひとりの思いがありました。行政に届ける課題がどっさりです。

いうまでもなく、選挙は終わった、あとは小沢映子に任せておこう、では困ります。ご承知の通りまだまだ未熟者の私です。いっしょに議会で富士市を社会のシステムを変えていってください。



## 後援会長から 堀 俊 二

選挙戦を振り返ってみますと、初当選の原動力は女性の力、社会的弱者と言われる人達の力を強く感じました。小沢映子は世間でよく言われるジパン・カパン・カンパンとは無縁で、重度の障害のある子を持つ普通の主婦です。唯一、前議員石丸恵美子さんの強力なバックアップと女性を小沢映子を市政に送り出したいと願う女性、老人、障害のある子を持つ親、障害当事者、社会的弱者と言われる人達の力の結集により初当選を果たすことができたのだと思います。

選挙戦に入る前は選挙カーに乗ってくれる人がいるだろうか？ウグイス嬢は集まるだろうか等々心配していましたが、いざ選挙戦に入りますと大勢の人達が集まり一致団結し協力し選挙事務所は熱気にあふれ、これまでの心配はとりこし苦労であることを実感いたしました。その時支障くださる皆様の熱い思いと湧き上がる力をひしひしと感じ、これなら当選できると確信いたしました。また、3000人以上の方々にご支障くださいましたが、多くの皆様は今の福祉のあり方に疑問を感じ、地域で安心して暮らしができないと思っている皆様にご支障くださったのではと思います。小沢映子の思い、誰もが安心して暮らせる社会の実現はご支障くださった皆様の思いでもあると思います。小沢映子は皆様のご支障を力に一生懸命働きます。また、ご支障くださいました皆様方に心より感謝申し上げます。本来小沢映子自身がご支障くださいました皆様に直接お会いし御礼申し上げたいところですが、公職選挙法により禁止されておりますのでどうぞご理解の程よろしくお願ひ申し上げます。

後援会員の皆様、今後とも苦言、励まし、ご意見等お寄せください。そして、未永くご支障下さいますようお願い申し上げます。



## 小沢映子さんへ 石丸 恵美子



※一番市民に身近な議員です。常に市民の立場に立ち、しっかりした信念を持って、老いても心豊かに、障害を持っても差別されることなく自分らしく暮らせるまち、すんで良かったと思うまち、富士市とするために、皆さんの代弁者となって、小沢さんの今まで培ってきたことを発揮して行ってください。何事にも負けないという強い心を持つ、やさしい明るい小沢さんに皆さんの変わらぬご支障を今後ともよろしくお願ひします。

5月20日の臨時議会で議員それぞれの1年間の役が決まりました。議長は公明党の大和田議員、副議長は佐野喜貞議員です。小沢映子は、常任委員会は「環境経済委員会」、特別委員会は「富士山・愛鷹委員会」にそれぞれ属することになりました。自分の持ち場だと思っている福祉だけでなく、委員会についても、市の予算・決算書についても、しっかり勉強していきたいと思っています。

選挙は何回経験してもわからないものです。今回のように立候補者が少ないとはいえ市民の関心も薄く、盛り上がりもない選挙はなかったように思いました。投票率はフーストワン、どこに力を入れていけばよいのか迷った選挙戦でした。とにかく新人であること、18万人の有権者にどのようにして一人でも多く小沢さんを知ってもらえるかを重点にしました。地盤も相親もお金もない私たち女性の出来ることは、多くの人に会うこと、どのような考え方を持って立候補を決意したのかを伝えていく地道な努力こそがたった一つの武器です。後援会カードは早くから作り後援会加入の活動を開始しました。作ったカード、後援会ニュースを年内に配ること、3月までに回収することなどを決め、小沢さん達の仲間のお母さん達にもお願ひしましたが、選対会譲らしいものは1度も出来ませんでした。とにかく一生懸命配りました。重度の障害児を抱え、福祉法人を立ち上げる仕事も大詰めになって忙しく立候補した小沢さんでしたが、がんばり通してくれた行動力は若さだけでは表現できない努力だったと思います。私はとにかく女性を減らしたくないという思いに数年前からこの方と思う方には声をかけてきました。皆さんそれぞれ素晴らしい人材で活発な市民活動を長年続けている人たちはたくさんいるのですが、議員への一步を踏み出して頂けないのが残念です。今回その一步を踏み出してくれたのが小沢さんでした。思いがけず多くの方々のご支障が頂けたことに、私なりに富士市の市民の方が女性も、もっと議会にと考えて頂けたのではという、明るい望みを持ちました。とても嬉しい当選でした。

小沢映子は、これから年4回ある定例議会毎に、市議会レポートを中心とした後援会便りを、発行していくつもりです。どうか皆さんの奇譚のないご意見お待ちしています。

〒417-0001 富士市今泉5-6-45  
TEL・FAX 0545-52-5299  
メール ozawa-imaizumi@thn.ne.jp  
URL <http://web.thn.jp/ozawa/>

